

令和元年度 事業報告

I 概 要

2019年11月に中国の武漢で発生した新型コロナウイルスによる新型肺炎は、2020年に入ると各国に広がり、流行の中心は欧州に移りWHOはパンデミックを宣言しました。また、感染は世界経済をも直撃し、コロナショックともいふべき世界的株安の連鎖を招きました。これにより各国はウイルスの封じ込め策にとどまらず、経済の落ち込みを回避するための政策の検討や発動に迫られました。

我が国経済においては、消費増税の反動により個人消費や企業の設備投資が大きく落ち込み2019年10月～12月のGDP（国内総生産）は大きなマイナスに転じました。加えて新型コロナウイルスの感染拡大の影響が広がり、日本経済は大きな試練に直面しています。

このような状況のなか、当センターは、多様な就業ニーズに応じていくため、新たな職種や仕事分野の開拓とともに労働者派遣や職業紹介による働き方を積極的に推進しました。その結果、本年度から高齢者の生活支援サービスを担う「介護予防・日常生活支援総合事業」への参入や当市の誘致企業からAI（人工知能）関連のパソコン入力業務の受注など、新たな仕事分野を掘り起こすことができました。また八戸市東霊園・西霊園・南郷中央霊園指定管理者の指定や労働者派遣事業及び有料職業紹介事業の更なる充実に向けた「業務拡大」の指定を受けるべく適切な対応を図りました。

全体の受注状況では、労働者派遣事業が順調に伸びている反面、公共部門の契約見直し等により受託事業が大きく落ち込むなど、請負就業の減少傾向に歯止めがかからない状況となっています。会員数については、イベントへの参加やマスメディアへの積極的対応を図るなど会員拡大に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、本年度の目標を達成することができませんでした。そのため、第5次中期計画の期間終了にともない、これまでの実績の分析や課題等を踏まえた取組みを強化するため、新たに令和2年度を初年度とする「第6次中期計画」を策定しました。

以下、個別の事業実施状況を報告します。

II 事業実績

1 第5次中期計画

本計画最終年度となる目標が着実に達成されるよう、積極的かつ効果的な取組みを展開しました。令和元年度目標の達成状況は次のとおりです。

① 目標と実績との対比

会員数は1,360人の目標に対し7人及ばず、達成率は99.5%でした。契約金額は目標額559,000,000円に対し、実績は582,551,640円と目標を上回り、達成率104.2%となりましたが、就業延人員では達成率95.1%と目標を6,056人日下回りました。就業率は90%の目標に対して、実績は97.3%でした（表1）。

表1 項目別目標の達成状況

項目	令和元年度目標	令和元年度実績	増減	達成率(%)
会員数(人)	1,360	1,353	△ 7	99.5
契約金額(円)	559,000,000	582,551,640	23,551,640	104.2
就業延人員(人日)	124,000	117,944	△ 6,056	95.1
就業率(%)	90.0	97.3	7.3	108.1

(各目標値は、受託事業(請負・委任)と労働者派遣事業の合算値)

② 会員登録状況

会員の登録状況は、男性878人・女性475人(表2)、年齢別構成では65歳から74歳までの年齢層が全体の64.6%を占めています(表3)。平均年齢は全体で72.2歳(表4)、最高齢は男性88歳・女性91歳となっています(表5)。

表2 男女別構成

区分	令和元年度	平成30年度	増減
男性(人)	878	892	△ 14
女性(人)	475	474	1
合計(人)	1,353	1,366	△ 13

表3 年齢別構成

区分	男(人)	女(人)	合計(人)	構成比(%)
60歳未満	2	2	4	0.3
60～64歳	52	40	92	6.8
65～69歳	265	116	381	28.2
70～74歳	322	170	492	36.4
75歳以上	237	147	384	28.4
合計	878	475	1,353	

表4 平均年齢

男性	女性	全体
72.1歳	72.5歳	72.2歳

表5 最高年齢

男性	女性
88歳	91歳

III 事業実施報告

1 就業機会提供事業

多様化する会員の働き方に対応するため、シルバー事業の根幹をなす受託事業のほか労働者派遣事業または有料職業紹介事業のいわゆる『事業の3本の柱』を基礎に、それぞれの仕組みに応じた活用を図り、就業機会の提供拡大に取り組みました。

(1) 受託事業(請負・委任)の拡大

会員の就業機会の確保に向けた潜在的な地域ニーズの掘り起こしや新たな就業分

野の開拓を行うなど、センターの根幹をなす事業の一層の拡大に取り組みましたが、実績は公共部門の契約見直し等により、対前年比で大幅な減少となりました(表6)。

職群別契約金額の構成比では、大工・塗装・庭木剪定などの技能群、施設管理や物品管理などの管理群、屋内外軽作業など一般作業群の3職群で全体の93.2%を占めています(表7)。

表6 受託事業実績

項目	令和元年度	平成30年度	増減	対前年度比(%)
契約金額(円)	378,399,826	402,281,336	△ 23,881,510	94.1
就業延人員(人日)	88,399	91,433	△ 3,034	96.7

表7 職群別事業実績

職群別	受注件数(件)	就業延人員(人日)	契約金額(円)	構成比(%)
技術群	14	644	4,800,832	1.3
技能群	1,550	9,228	45,446,225	12.0
事務群	260	4,934	6,498,333	1.7
管理群	81	36,818	133,157,181	35.2
折衝外交群	1	168	1,208,083	0.3
一般作業群	2,994	32,842	174,154,960	46.0
サービス群	451	3,765	13,134,212	3.5
その他	0	0	0	-
合計	5,351	88,399	378,399,826	

(2) 労働者派遣事業(シルバー派遣)の推進

シルバー事業の適正化の推進とともに多様化する就業形態に対応するため、労働者派遣事業を積極的に推進し、就業機会の拡大に努めました。実績は次のとおりです(表8)。

表8 労働者派遣事業実績

項目	令和元年度	平成30年度	増減	対前年度比(%)
契約金額(円)	204,151,814	179,734,171	24,417,643	113.6
就業延人員(人日)	29,545	26,739	2,806	110.5

(3) 有料職業紹介事業の推進

臨時的、短期的またはその他の軽易な業務の雇用就業を希望する高齢者に対する有料職業紹介事業を推進しました。実績は次のとおりです(表9)。

表9 有料職業紹介事業実績

区分	求人件数(件)	求人数(人)	紹介者数(人)	就職者数(人)
令和元年度	40	153	153	153
平成30年度	43	131	131	131

2 就業機会確保事業

(1) 安全・適正就業対策の強化

① 安全就業対策

安全意識の徹底とその高揚を図り、事故の根絶に向けた取組みを下記のとおり実施しましたが、実施予定の安全講習の一部及び職群班安全研修については、新型コロナウイルスの感染拡大による自粛要請のため急遽中止となりました。

令和元年度の傷害事故発生件数は平成30年度と比較して、1件の増加となりましたが、損害事故は2件減少しました（表10）。

○ 具体的取組

ア 安全・適正就業委員会による安全パトロールの実施（表11）

イ 安全講習の実施（表12）

ウ 公園班・草刈班に対する飛び石防止用防護ネットの貸与

エ 事務局休業日および夜間における緊急連絡体制の整備

オ 『事務局だより』を活用した安全就業および健康管理に関する情報の提供

カ シルバー保険（傷害・賠償責任）及び個人情報漏えい保険への加入の推進

キ 熱中症見舞金制度への加入

ク 熱中症予防のためのペットボトルホルダーの配付

表10 令和元年度事故発生状況

	令和元年度	平成30年度	増	減
傷害事故(件)	9	8		1
損害事故(件)	3	5	△	2
合計	12	13	△	1

表11 安全パトロール

期 日	場 所
7月10日	個人発注者宅ほか3ヵ所
7月24日	新井田公園ほか5ヵ所
8月19日	ハイテクパーク街路ほか2ヵ所
9月18日	東霊園ほか3ヵ所

表12 安全講習

講習会名	期 日	場 所 等	受講者数(人)
伐木等業務安全衛生特別教育	10月29・30日	東運動公園	20
送迎運転講習	12月16日	八戸モーター スクール	20
刈払機安全操作講習 (テキスト配付による簡易講習)	3月16日～31日		68
合 計			108
普通救命講習	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
交通安全教室			

② 適正就業対策

受託事業から派遣事業への移行やローテーション就業の拡大、または職業紹介事業の積極的活用を推進することにより、就業の適正化に努めました。

(2) 普及啓発事業の展開

シルバー事業の理念や仕組み等を地域社会に広く周知するとともに、働くことに特化することなく、生きがいや居場所づくりを目的とした啓発による入会促進、さらに地域貢献や地域の信頼を得るための活動を普及啓発委員会を中心に実施しました。

○ 活動内容

- ア 市内全域へのチラシの配布
- イ バス車内アナウンスによる広報
- ウ 公共施設へのポスターの掲示・会報「黄菊」及びパンフレットの配置
- エ ホームページを活用した入会の受付及び広報
- オ 八戸テレビやBeFMなどマスメディアを通じた情報の発信
- カ 『はちのへシルバー人材センター生き活きまつり』の開催（表13）
- キ ボランティア活動の実施（表14）
- ク 入会説明会開催によるシルバー事業の啓発
- ケ 青森県シルバー人材センター連合会主催イベント等への協力

表13 はちのへシルバー人材センター生き活きまつり

期 日	6月30日（日）
場 所	八戸ポータルミュージアム『はっち』・はちのへホコテン
来場者数	370人

表14 ボランティア活動

場 所	期 日	活 動 内 容	参加者数（人）	備 考
風 の 道 公 園	5月24日	草 刈 等	28	公 園 班
東 運 動 公 園	10月31日	清 掃	117	会 員
田 向 五 丁 目 緑 地	11月5日	草 刈 等	12	草 刈 班
新 井 田 公 園	11月21日	清 掃	93	会 員
湊 高 台 歩 行 者 路 専 用 道 路	12月10日	樹 木 剪 定 等	28	庭 木 班
合 計			278	

(3) 就業開拓提供事業の展開

新たな就業分野の掘り起こしや就業機会の拡大を図るため、役職員による民間事業所及び公共団体等への訪問による就業開拓を展開し、会員の希望する仕事の提供に努めました。またホームページからの仕事の申し込みやコンビニエンスストアからの代金支払いを可能とする「エイジレス80アクティブ」を継続導入し、受注事務の迅速化・簡略化並びに入金事務の効率化を一層推進することで発注者に対する利便の向上を図るとともに、商工会議所発行の商工ニュースを通じて、民間事業所

など約4,000社に対し、8月と3月に発注依頼のチラシを送付するなど受注の拡大に努めました。

(4) 講習・研修事業の実施

会員の知識・技能の習得並びに向上を図るとともに就業機会の拡大に資するため、八戸市及び青森県シルバー人材センター連合会と連携し、次のとおり講習および研修を実施しました（表15）。

表15 技能講習・職群班研修等

講習会名	期日	場所	受講者数(人)
八戸市訪問型サービスA訪問 支援員養成研修(八戸市主催)	5月20日～23日	福祉公民館	15
草刈講習	6月14日	東 霊 園	14
庭木剪定講習	6月11日・12日	東運動公園	19
接遇講習	2月20日	児童科学館	70
雪囲い研修	12月9日	東運動公園	25
毛筆筆耕研修	5月～3月(随時)	福祉公民館	26
合 計			169
家事援助講習	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		

3 情報の提供等

講習の開催日程や行事の諸連絡及び安全就業推進のための情報並びに就業会員募集等、すべての会員に情報を提供するため、事務局だよりを発行しました。

また、一般市民に対する情報提供を強化するため、ホームページの利用促進を図るとともに会報『黄菊』を公民館等24施設に配置をしました（表16）。

表16 情報の提供

項目	回数	対象者	備考
事務局だより	年6	会 員	奇数月の発行
会報『黄菊』	年1	会 員・一般市民	公民館等24施設に配置
ホームページ	随時	会 員・一般市民	

4 福利厚生の充実

シルバー人材センター団体傷害保険や熱中症見舞金制度への加入を推進するとともに、「事務局だより」を通じての熱中症及びインフルエンザ予防の呼びかけや安全・適正就業委員会によるペットボトルホルダーの配付を行うなど、会員の健康維持・増進を図りました。また、新入会員に対するSCマーク入り作業帽の頒布や永年在籍会員の表彰を行いました。さらには、会員としての見聞を広め、資質の向上を図るとともに会員相互の交流と親睦を拡大するため日帰り研修旅行を実施しました（表17）。

表17 日帰り研修旅行

期 日	10月25日（金）
場 所	盛岡市あさ開酒造・花巻南温泉峡渡り温泉
参加者数	122人

5 諸会議の開催

センターの維持管理および事業運営の執行に関して必要な会議を、次のとおり開催しました（表18-1、表18-2）。

表18-1 定款に定める会議

会 議 名	開 催 年 月 日	開 催 場 所
定 時 総 会	令和元年 6月 7日	八戸プラザホテル・アーバンホール
理 事 会	平成31年 4月25日	福祉公民館
	令和元年 6月 7日	八戸プラザホテル・アーバンホール
	令和元年 7月 8日	福祉公民館
	令和元年 9月13日	福祉公民館
	令和元年12月20日	八戸グランドホテル
	令和2年 3月17日	福祉公民館

表18-2 その他の会議

会 議 名	開 催 年 月 日	開 催 場 所
安全・適正就業委員会	令和元年 7月 8日	福祉公民館
普 及 啓 発 委 員 会	平成31年 4月16日	福祉公民館
	令和元年 6月19日	
	令和元年 7月11日	
	令和元年10月24日	
班 長 連 絡 会 議	平成31年 4月16日	福祉公民館
	令和2年 1月28日	
創 立 4 0 周 年 記 念 事 業 実 行 委 員 会	令和元年 9月 6日	福祉公民館
	令和2年 1月17日	

6 その他の事業

他センターとの交流を通じて相互の経験や情報交換の場を設けることにより、効果的な事業運営の向上と改善を図ることを目的に役員等視察研修を次のとおり実施しました（表19）。

表19 役員等視察研修

視 察 研 修 先	期 日	研 修 内 容	参加人数
公益社団法人上田地域 シルバー人材センター	10月9日～10日	・理事会、委員会活動等について ・会員及び就業の拡大について	15人